

学校教育目標	【学校教育目標】「共に学び、自他を大切に、たくましい、心豊かな人を育てます」 ○主体的に考え、対話をしながら将来にわたって意欲的に学び続ける人を育てます。(知) ○社会の形成者として、共によりよく生きる、自立心にあふれた心豊かな人を育てます。(徳) ○運動に親しみ、心身ともに健やかでたくましい人を育てます。(体) ○横浜を愛し、協働しながら課題解決をはかり、広く社会に貢献する人を育てます。(公) ○多様性を尊重し、共生しながら持続可能な国際社会の実現に向けて行動する人を育てます。(開)				
	創立 74 周年	学校長 後藤 秀吉	副校長 佐久間 万博	3 学期制	一般学級: 24 個別支援学級: 3
学校概要	児童生徒数: 911 人 主な関係校: 大綱小学校・太尾小学校・大豆戸小学校・菊名小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	大綱中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p><社会で活用できる知識・技能> <未知の状況に対応できる問題発見と解決能力> <多様性を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創造する力></p>	<p>大綱中学校 大綱小学校 太尾小学校 大豆戸小学校 菊名小学校</p>	<p>○主体的に学習に取り組む子ども～学び合う～ ○あいさつができ、友だちや地域との関わりを大切に子ども～関わり合う ○自分の良さを活かしながら夢や希望に向かってチャレンジする子ども～未来を創る～</p> <p>・各教科で身に付ける力の共通理解を図る合同授業研究会を実施。 ・目指す子ども像について、視点を確認する合同研修会を実施。 ・定期的に中学校職員による小学校参観を実施。</p>

<p>中期取組目標</p> <p>○指導力・授業力・組織力の向上により、魅力ある学校づくりを目指します。 ①対話による学び合いの姿勢を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創造する力を育みます。 ②困難に立ち向かい、多様性を尊重し、思いやりのある姿勢を育み、いじめのない学校風土をつくります。 ③挨拶から始まるコミュニケーションを大切に、実生活や将来につながる生活態度を身に付けさせます。 ④教職員集団としての協働性を尊重し、日常の教育活動を推進します。 ⑤保護者や地域との連携を大切に、地域に貢献しようとする姿勢を育みます。</p>
--

重点取組分野	具体的取組
<p>知 授業改善</p> <p>担当 学習指導部</p>	<p>①妥当性・信頼性の高い評価を目指し、昨年度の評価を振り返り、「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法を教科横断的な視点から再検討する。②「生徒の主体性を引き出す授業実践」をテーマに、意見交換する時間を設定し、デジタルとアナログそれぞれの長所を生かした授業改善を行う。</p>
<p>徳 道徳・人権教育</p> <p>担当 特活・生活指導部</p>	<p>①朝会や評議会を通して、いじめを防止・抑止できるような取組を進める。生徒会本部が積極的に発信できるよう活動していく。②ローテーション道徳の実践をさらに推進し、質の向上と学校全体での共有を進める。さらに行事における道徳教育の推進を充実させる。</p>
<p>体 健康教育</p> <p>担当 保健指導部</p>	<p>①生徒が主体的に心身ともに健康的な学校生活ができることを目指し、場面や個に応じた保健指導や、生徒会活動による生徒の主体的な発信を行う②日常の学校生活における怪我や体育的行事、部活動における怪我が起こる要因を分析し、危機管理意識を高め、対応を振り返って学校事故の予防を行う。</p>
<p>公 自分づくり教育 (キャリア教育)</p> <p>担当 学習指導部</p>	<p>①地域の教育力を生かし、キャリア教育(職業講話、職業調べ)を実施し、働くことの意義と責任について学ぶ。 ②平和学習、校外学習などを通して探究的な学習に取り組ませ、課題設定・問題解決能力や資質を育成し、自己の生き方を考えることができるようにする。</p>
<p>いじめへの対応</p> <p>担当 いじめ防止委員会</p>	<p>①「自他を大切に」の学校教育目標のもと、「横浜プログラム」等も活用するなかで自己肯定感を高め、いじめを許さない学校風土の確立に専心する。②校長をリーダーに、定期的に「いじめ防止対策委員会」を開催し、実態把握、分析を行い、速やかに関係機関と連携をとりながら解決をはかる。</p>
<p>人材育成・ 組織運営(働き方)</p> <p>担当 教務部など</p>	<p>①メンター研修を始めとし、職員の資質向上のための研修実施とともに、日々の教育活動の中でお互いに助言しやすい環境づくりを行う。②職員の業務が滞りなく進むように、組織として業務の精選を行い、見通しをもった計画を作成する。また、事務作業に専念できるような時間の確保を行う。</p>
<p>生徒指導</p> <p>担当 生活指導部</p>	<p>①課題に着実に取り組むことができるように、教育相談の期間や時間の確保できる環境づくりをしていく。またアンケート等を活用し子どもたち、実態を把握していく。②一人ひとりがしっかりと判断できるように講習会などを開いていきたい。</p>
<p>特別支援教育</p> <p>担当 特別支援委員会</p>	<p>①多様性を理解するために、合理的配慮を実施するための合意形成の在り方などについて教職員全体で研修会を年3回以上実施し、課題解決能力を高める。②特別支援教室推進を行う。職員の特別支援に対する理解を深め、特別支援教室が「生徒が自らのペースで学習や生活を整えられる場」となるよう、登校支援を行う。</p>
<p>地域連携</p> <p>担当 渉外部</p>	<p>①体育祭、合唱コンクールなどのPR活動、部活動発表会への招待、地域事業所と連携した教育活動、学校HPIによる日々の教育活動の情報発信など、地域との双方向の協力体制を今後も深めていく。②保護者・地域との粘り強い連携により、自他を大切に作る風土づくりを目指す。</p>
<p>担当</p>	